

我孫子市

# 農業委員会だより

## 第28号

平成29年12月15日

発行・編集  
我孫子市農業委員会  
〒270-1192  
我孫子市我孫子1858  
電話7185-1111  
内線(362・363)



オープンして賑わう農産物直売所あびこん

## 水の館(手賀沼親水広場)に 農業拠点施設が誕生!



記念式典セレモニー(テープカット)

今年6月、農業者が長年にわたり要望してきた「農業拠点施設」が、リニューアルした水の館内(手賀沼親水広場)に開設されました。公設の農産物直売所(あびこん)と飲食施設(米舞亭)を核に、市の農業委員会と農政課の執務室も整備され、様々な農業支援や農地行政を環境行政と一体的に進めることができるようになります。文字どおり、我孫子の都市近郊農業の特長を生かした農業振興拠点となります。

農業委員会としても、農家・消費者・関係諸方面と連携し、皆さまの期待に応えられるよう尽力してまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。



農業委員会会長 三須清一





農水省職員側

我孫子市農業委員会側

7月28日に、農林水産省の職員と我孫子市農業委員会との意見交換が行われました。  
 農林水産省からは、本省農地政策課と関東農政局農地政策推進課及び同千葉支局の職員が出席さ

本市の活動状況と農家の声を直接アピール

# 農水省本省職員と意見交換会

農業委員会のご報告 (1)

れ、我孫子市からは、三須会長以下農業委員と最適化推進委員計6名が出席しました。



農水省職員による新規就農法人のほ場視察

当日は、我孫子市側から、我孫子市農業の概要と「人・農地プラン」の取組み状況、法改正後の農業委員会の体制と活動の状況、中間管理機構との連携などについて、課題となっている事項と合わせて説明しました。  
 説明と意見交換の後は、農水省の交付金を活用して「水の館」に整備された農産物直売所やレストラン、遊休農地を活用して経営規模を拡大する新規就農法人等の現地視察も行われ、大変充実した意見交換会となりました。

## 研修・研修・・・そしてまた研修

# 農業委員も最適化推進委員も、しっかり研修!



農業者年金制度の講習会 (6月15日)



経営力強化・農地集積シンポジウム(11月9日)



「田園プラザ川場」における「地域農業育成と魅力発信」の事例研修(10月31日)



東葛飾管内農業委員会の視察研修(7月4日)

農業委員会では、農地法に基づく各種審査を適正に行い、農地利用の最適化や担い手育成の取組み等を積極的に進めていくために、農業委員と農地利用最適化推進委員が相互に連携して、計画的に研修・研鑽に取り組んでいます。

農業委員会の活動のご報告(2)

農業委員と最適化推進委員が

農地活用  
の促進

しっかりと連携!

中里  
地区等で

国の農地中間管理事業を活用して  
合計11haの田を担い手農家に集積!

28年度から始まった江蔵地区の取組みにつづき、29年度は中里地区等でも農地中間管理事業の活用が進んでいます。

中里集落では、28年2月に座談会が開催され、以後担い手農家への農地集積の準備が進められてきましたが、今年度、中里新田等の62筆約9・6haの田(出し手15人)について農地中間管理事業が活用され、担い手農家(3経営体)に利用権設定が行われました。

また、江蔵地区でも、同中

農地中間管理事業の内容と交付金については、千葉県農地中間管理機構のリーフレット「農地の貸し借りは機構におまかせください」をご参照ください。

この事業の活用により、農地の持続的な活用基盤が強化されるとともに、条件に応じて該地域や貸し手農家が国の交付金を受けることが可能となりました。

- ・ 市内のどこの地区でも中間管理事業の活用ができます。
- ・ 高齢で後継者がいない
- ・ 相続した農地を貸したい
- ・ 今後は規模縮小するので水稻作はやめたい
- ・ 今後の対策をお考えの方(又は地区)は、まずは、農業委員会・農政課にご相談下さい。

遊休農地対策(担い手等の利用)推進で  
28年度は5.32ヘクタールを解消!



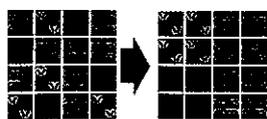
28年度当初の市内遊休農地面積は、約52・4haでしたが、解消に向けた1年間の取組みを通じ、約5・32haを解消することができました。

解消は、農地所有者自身で耕作を再開する場合もありましたが、多くは、認定農業者や新規就農者などの担い手への貸付等でした。農地の適正かつ効率的な利用は、農地法で農地所有者等の責務とされています。遊休農地解消の取組みは、農地所有者等への意向調査をもとに進めてまいりますので、引きつづきご理解とご協力をお願いいたします。

「農地等の利用の最適化の推進」とは、以下の成果を上げるために出し手農家を訪問して農地中間管理機構への貸付けを促すなどの掘り起こしや担い手とのマッチングのための話し合いなどの活動を行うことです(農委法第6条第2項)

1 農業経営の規模の拡大、耕作の事業に供される農地等の集団化

→ 担い手への農地利用の集積の推進



2 農地等として利用すべき土地の農業上の利用の確保

→ 耕作放棄地の発生防止、解消の推進



3 農業への新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進

→ 新規就農、企業等の農業参入の支援



農業委員、農地利用最適化推進委員には、秘密保持義務がありますので、職務上知り得た秘密は在職中だけでなく退任後も漏らしてはなりません。(農委法第14条、第24条)

農地等の利用の最適化の推進とは



## 農地等の実態調査

(農地の耕作状況等に関する申告)

### 提出は 1月10日までに!

毎年1月1日現在の農地の耕作状況や所有農機具などの実態調査を実施しています。

農地の権利移動手続きや諸証明の発行手続き等の際に重要な役割を持ちますので、必ず提出いただきますようお願いいたします。

提出期限は**1月10日**です。

## 全国農業新聞のご購読を

全国農業新聞は、農家のための新聞で、農業経営や農家の暮らしの情報などが満載です。申し込みは、農業委員又は農業委員会事務局までお願いします。

- 発行 毎週金曜日
- 購読料 月700円

**全国 農業 図書**



## 農業者年金にぜひご加入を

あなたの老後生活への備えは十分ですか？農業者年金は、農業者の老後生活の支えになります。

### 農業者年金の6つのポイント

- ① 農業者の方が広く加入できる
- ② 少子高齢化時代に強い積み立て方式(確定拠出型)の年金
- ③ 保険料の額は自由に決められる(月2万円〜6万7千円)
- ④ 終身年金で80歳前に亡くなられた場合でも80歳まで保証
- ⑤ 税制面の優遇措置で、保険料は全額社会保険料控除
- ⑥ 認定農業者など意欲ある担い手には保険料の国庫補助あり



農業者年金などの相談活動(第36回農業まつり会場にて)

## 今年も新規の年金加入者も誕生!

農家の後継者にとって、老後までの生活設計をしっかりと組み立てることは非常に大切なことです。今年度の上半期には、農業委員と最適化推進委員の農業者年金加入促進活動を通じ、新規の農業者年金加入者も生まれています。加入した農家からは、「積立方式・確定拠出型で国の補助金もある。結構メリットがある。」との声が寄せられています。

※相談は、農業委員会に気軽にお寄せください。

## 農地の賃借料情報の提供

(平成28年度分)

今回の情報は、平成28年4月から平成29年3月までに締結(公告)された農地の賃借借契約の情報です。この賃借料情報は、あくまで相対の契約事例ですのでご了承下さい。

この情報は相対の契約事例です。(参考として提供)

◎10アール当たりの年間賃借料(円)

区域	区分	平均額	最高額	最低額	件数
全域	畑	19,000	22,900	4,900	24件
	田	16,500	22,700	5,550	103件

\*金額は算出結果を四捨五入(100円単位)した値  
\*賃借料を米で物納している場合は、米60kg当たり11,100円に換算



**ストロベリー**  
**違反転用**  
**ヤミ耕作**

# 農業拠点施設の役割に期待 …そして自らも参画して！

～女性農家初(我孫子市)の農業委員 大炊三枝子～



農業と言えば今までは男性社会であり、女性には男性のサポート的な役割が多いなかで、平成27年の法律改正を受け、昨年4月、我孫子市初の農家出身女性農業委員を拝命しました。

業の現状は、若い就農者が少なく、農業従事者は年々高齢化の一途をたどり、耕作面積も減少して農地の遊休化と荒廃が進んでいます。

当初はかなり戸惑いでしたが、我孫子のアンテナショップ農産物直売所の10年間の運営の中で、加工部代表としての経験を生かすようにとの趣旨かと、私なりに推察しております。

今年6月3日に、手賀沼親水広場内「水の館」に農業拠点施設がグランドオープンし、その一階には市内農家待望の農産物直売所とレストラン(旬菜厨房「米舞亭」・加工処理施設(惣菜、菓子)が整備されました。この整備と開設にあたっては、直売所と加工部で頑張ってきた農家仲間と力を合わせ、市と連携して準備を進めてきました。

既にご承知とは思いますが、我孫子の農

業の現状は、若い就農者が少なく、農業従事者は年々高齢化の一途をたどり、耕作面積も減少して農地の遊休化と荒廃が進んでいます。そういった中で、直売所事業を行うメリツトは、①小規模農家でも自らの作業能力や農地の規模に合わせて無理なく生産・出荷ができること②流通コストが節約できるために農家の手取り金額が確保できること③自分で価格設定ができること④顔の見える関係で主体的に販売できること⑤加工、観光なども連携し6次産業化(付加価値化)が可能になることが挙げられます。

**平成29年度 千葉県功労者表彰(農林水産功労)**

**前会長 大野木奥治氏が受賞**

平成29年文化の日千葉県功労者表彰(農林水産功労)に、本市農業委員会前会長の大野木奥治氏が決定され、11月3日に千葉県議会棟で表彰式が行われました。

この賞は、千葉県の発展に多大に貢献された方(団体)が表彰されるもので、昭和23年に始まり、今年で70回目となります。

今年の受賞者は、全体で16功労61名2団体で、大野木氏は農林水産功労受賞者を代表して森田知事から表彰状を受領しました。

**祝**

【千葉県功労者表彰式典会場】

【千葉県議会議事堂前にて】

【大野木奥治氏の農業委員経歴の概要】

平成13年	4月～平成28年	4月	農業委員
平成20年	12月～平成22年	5月	職務代理者
平成22年	5月～平成28年	4月	会長

# 農業委員会会長賞に 岩立高司さんの「こかぶ」

第36回農業まつりの農産物共進会では、岩立高司さん(台田)の「こかぶ」が農業委員会会長賞に選ばれました。また、最優秀賞の千葉県知事賞には、原田賢宗さん(根戸)の「トマト」が選ばれました。

受賞者の皆さんおめでとうございます。



今年の第36回農業まつりは、11月18日、リニューアルオープンした手賀沼親水広場(水の館)の駐車場広場等を会場に、農業委員会も参加した実行委員会の主催により盛大に開催されました。

当日は、恒例の農産物共



進会とともに、野菜の栽培相談や苗木プレゼント、農家による振るまい餅などが多彩に催されるとともに大型トラクターや懐かしい灯油発動機も展示され、農業者と多くの市民の皆さんが楽しく交流しました。

農業委員会は、農業者年金や農地有効活用(中間管理事業等)の相談コーナーやポップコーンコーナーを担当しました。

第36回

## 手賀沼親水広場 農業まつりを盛大に開催!

農業拠点施設  
で



### 農業委員と農地最適化推進委員の担当区域一覧表 (各委員欄内 50音順)

農地や担い手育成のご相談は農業委員・推進委員まで!

農業委員	農地利用最適化推進委員会	担当区域
大炊 三枝子 須藤 喜一郎 成島 誠	川口 浩 日下部 一利	布施 布施下 北新田 久寺家 つくし野 台田 根戸 根戸新田 呼塚新田 船戸 白山 本町 緑 寿 我孫子 栄 泉 並 木天王台 柴崎 柴崎台 日の出 青山 青山台 南青山
大井 栄一 嶺岸 勝志	香取 典男 渡邊 一郎	我孫子新田 高野山 高野山新田 東我孫子 下ヶ戸 岡発戸新田 都部村新田 岡発戸 都部 湖北台 上沼田 中峠台 中峠(上)
中野 栄 宮久保 勝	加賀 文志 田村 正明	中峠(下) 中里 古戸 日秀 中里新田 日秀新田 中沼田 下沼田
田村 星寿 根本 博 三須 清一	齊藤 剛廣 長島 操	新木 新木野 南新木 新木村下 江蔵地 布佐平和台 大作新田 浅間前 浅間前新田 布佐 布佐1丁目 布佐西町 都 相島 相島新田 布佐下新田 二河屋新田 新々田



【編集委員】  
農業委員 須藤喜一郎・嶺岸勝志  
推進委員 田村 正明・長島 操

手賀沼親水広場・水の館にお出での際は、ぜひとも新しい農業委員会事務局にお立ち寄り下さい。

委員会だよりの編集に携わりあらためて思う事は、農業政策は日本国の方針で動いているということ。

農業政策や農地法のこと、支援制度のことなど、この紙面でもお知らせできると良いのですがとても載せきれません。ですから、お気軽に事務局にお寄りいただき、いろいろな情報を入手して行って下さい。

これからも編集委員一丸となり、日々の活動や本紙面を通じて有益な情報の提供に努めていきたいと考えていますのでご期待ください。

平成30年、皆様にとり良い年でありますようご祈念申し上げます。

## 編集後記

